

常任委員会視察報告

市議会では、委員会が所管の課題に対し審査や調査を行うため、他の自治体等の先進的な事業について行政視察を行っています。平成25年度に行った各常任委員会の行政視察について以下のとおりです。

総務委員会

平成25年8月27日から29日にかけて、渋谷区、静岡市で行政視察を行いました。

渋谷区では、渋谷駅直結の商業施設「渋谷ヒカリエ」の8階に整備された「防災センター」を訪問し、センターの概要と渋谷区の防災対策について説明を受け、現地視察を行いました。

静岡市では、平成22年2月に策定された「静岡市資産の活用に関する推進方針」の中で、特に、「公共施設の計画的保全（アセットマネジメント）※6」の推進について説明を受け質疑を行いました。



渋谷区防災センター



静岡市役所

環境水道委員会

平成25年8月26日から28日にかけて、京都府、滋賀県、大阪市で行政視察を行いました。

京都府では、けいはんなe2未来（イーミライ）スクエア（けいはんなプラザ内）において、次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクトについて、プロジェクトの概要や具体的取り組み、今後のスケジュールなどについて担当者の説明を受けました。

滋賀県では、油藤商事株式会社を訪問し、廃油リサイクルについて、ガソリンスタンドでの廃油回収の取り組み、活動状況ならびに今後の課題並びに展望について説明を受けました。次に、実際にバイオディーゼルを精製する機器などを見学しながら精製・販売についての説明を受けました。



海老江下水処理場



油藤商事株式会社

大阪市では、海老江下水処理場、下水道科学館を訪問し、「B-DASHプロジェクト」（下水道革新的技術実証事業）に採択された下水道熱利用技術について、実証実験を行っている現地の設備を担当者の意見を交えながら視察を行いました。

企画教育市民委員会

平成25年5月21日から23日にかけて、東京都北区、新潟市で行政視察を行いました。

東京都北区では、中学校1校と複数の小学校からなる学校ファミリーを基盤とした小中一貫教育制度について、そのカリキュラムの特色、現在の運用状況ならびに今後の取り組みについて説明を受け質疑を行いました。

新潟市では、先進的な分権型



東京都北区役所



新潟市役所

政令市を目指すなかで、区民の声が活かされる市政、区民の声に即応できる市政、地域の実情にきめ細やかに対応できる市政の実現に資するため、予算における区役所権限の拡大について、新潟市が実施している区のまちづくり推進事業内容及び成果の概要説明を受け質疑を行いました。

福祉子ども委員会

平成25年7月29日から31日にかけて、函館市、弘前市で行政視察を行いました。

函館市では、子どもの成長発達過程で障がいやその恐れのある子に対し、早期に適切な支援を行うために作成されている小冊子「ばーそなるすけっち、療育カルテ」について、作成の経緯や利用状況、今後の展望について担当者の説明を聴取しました。

弘前市では、まず、保護者が就労等により昼間家庭で適切な保護が受けられない児童に対し家庭に代わる生活拠点として実施されている



函館市役所



弘前市役所

「放課後児童健全育成事業」について、担当者の説明を聴取しました。次に、子育てに適した良好な住環境の創出への支援を行う「子育てスマイル（住まいる）アップ補助事業」について、制度の概要や実施状況について、担当者から説明を聴取しました。

経済委員会

平成25年10月9日から11日にかけて、東京都板橋区、神奈川県平塚市で行政視察を行いました。

板橋区では、ハッピーロード大山商店街振興組合事務所において、まず、区の商店街振興施策並びに、ハッピーロード大山商店街振興組合の振興施策の取り組み状況及びその効果についての説明・質疑を行った後、空き店舗を活用した全国市町村のアンテナショップ及びイベントスペースの現地視察を行いました。

平塚市では、競輪場において、施設概要、事業実績、事業及び施設整備基金状況、ナイター競輪の開催状況、顧客拡大への取り組み等について説明を受け、質疑を行った後、施設の視察を行いました。



平塚市競輪場



平塚市競輪場（施設）

都市整備委員会

平成25年8月28日から30日にかけて、札幌市、旭川市で行政視察を行いました。

札幌市では、まず、札幌圏の地下鉄・バス・市電で乗車券として利用されている地域型交通系ICカード「SAPICA（サピカ）」について、その導入経緯、

現在の運用状況ならびに今後の機能拡充などの計画について説明を受けました。次に、「北三条広場」の再開発現場に場所を移し、再開発の概要や目的、進捗状況について視察を行いました。なお、この広場は、隣接地で新設ビルの計画を進めている民間会社が、ビル建設を機会とした公共貢献の一環として整備を行っており、全国的にも類を見ない公共施設整備の手法で、民間活力導入のモデル事業となるものです。



旭川駅



札幌市北三条広場

旭川市では、JR線高架化に伴う旭川駅のリニューアルにあわせ実施されている「北彩都あさひかわ整備事業」について、史別川に隣接する駅の立地特性を生かした整備状況を現地での担当者による説明を交えながら視察を行いました。

※6 アセットマネジメント

用語解説

資産（アセット）を効率よく運用（マネジメント）するという意味。計画的に施設の整備や維持・管理を行うことで寿命を延ばしたり、利活用や統廃合などで無駄をなくし保有総量を小さくしたりすること。